

令和元年度 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)シンポジウム

学んでよし、働いてよしの新潟に向けて

～COC+事業の成果報告と若者の県内定着促進のために～

NIIGATA COC+成果報告

地域志向の教育改革について



真の強さを学ぶ。

新潟大学

NIIGATA UNIVERSITY

学長 高橋 姿

1 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）について

(1) COC+全体の事業概要

【背景・課題】

『人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる』という負のスパイラルに陥ることが危惧されている。

地方／東京の経済格差拡大が、東京への一極集中と若者の地方からの流出を招いている。

【事業概要】

地方の大学 … 地域の自治体や中小企業等と協働し、**地域の雇用創出や学卒者の地元定着率の向上に関する計画を策定**

東京等の大学 … **地方の大学や地方公共団体・中小企業等と協働し**、地方の魅力向上に資する計画を策定

- 大学が、地域の各種機関と協働し、学生にとって魅力ある就職先を創出・開拓するとともに**地域が求める人材を育成するための教育改革を実行**
- **COC+推進コーディネーターを配置し、事業協働地域の連携強化や取組の進捗を管理**

⇒ 事業協働機関が設定した目標達成のため、大学力（教育・研究・社会貢献）を結集

①事業協働地域の産業活性化、人口集積を推進するため、大学群、自治体、企業等の課題（ニーズ）と資源（シーズ）の分析

②①を踏まえた雇用創出・就職率向上の目標値設定

③地域が求める人材養成のための教育プログラムを実施するために必要な人的・物的資源の把握

④教育プログラムの構築・実施

【大学】

- 地域特性の理解(地域志向科目の全学必修)
- 専門的知識の修得と地域をフィールドとする徹底した課題解決型学習による地域理解力と課題発見・解決能力の修得等

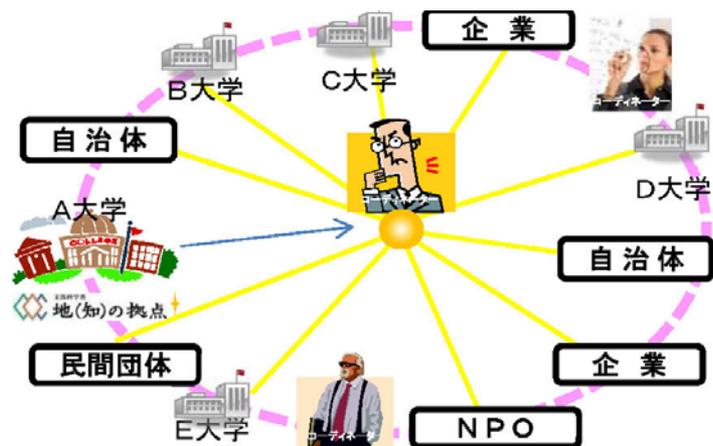
【地方公共団体・企業等】

- 実務家教員の派遣
- 財政支援
- フィールドワークやインターンシップ、PBL等を実施するための場の提供等

【成果】

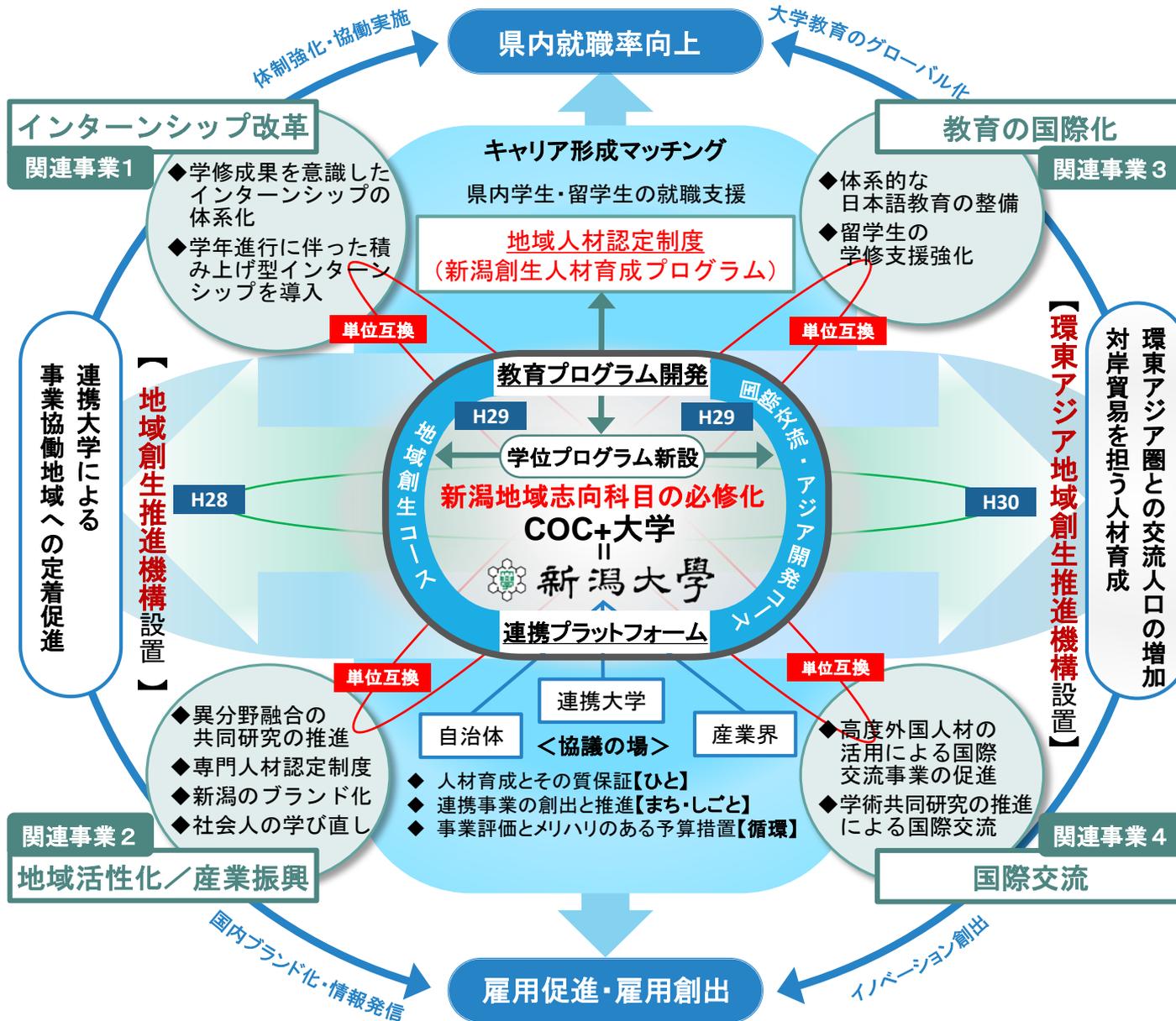
- ・事業協働地域における雇用創出
 - ・事業協働地域への就職率向上
- ⇒ 若年層人口の東京一極集中の解消

COC+大学と事業協働地域の機関が協働し、地域が求める人材を育成し、若年層の地元定着を推進



1 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)について

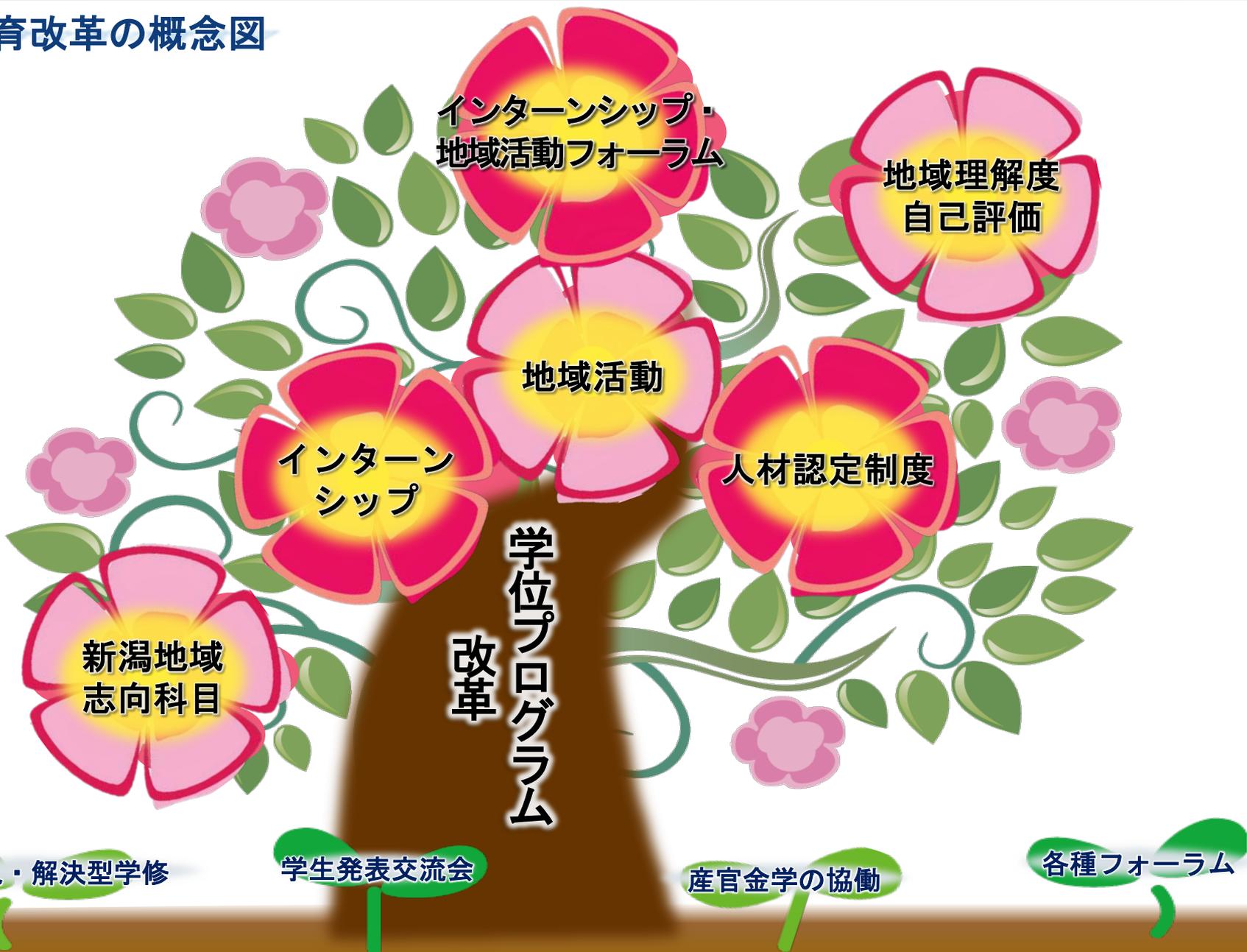
(2) NIIGATA COC+の全体像 「『ひと・まち・しごと』創生を循環させるNIIGATA人材の育成と定着」事業概念図 (平成27年度申請時のもの)



事業協働地域におけるコストシェア	
区分	人的・物的・財政的負担
COC+大学	<ul style="list-style-type: none"> 本事業を推進するための専門組織及び専門事務体制の新設 学内予算による「COC+推進コーディネーターの雇用」として専任職員の配置 事業実施に関する経費の学内負担分の予算措置
COC+参加大学	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラム担当教員としての参画 所管する施設の無償提供 事業実施に関する経費の学内負担分の予算措置
地方公共団体	<ul style="list-style-type: none"> 政策に関連する各事業への職員の協力 本事業の取組みと関連する施策の推進 若年層人口の地元定着に向けた取組みの推進 所管する施設を利用する際の協力
企業	<ul style="list-style-type: none"> 教育プログラムへの社員の派遣 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社コロナ 北越工業株式会社 所管する施設の無償提供 <ul style="list-style-type: none"> 株式会社新潟日报社 マッチングフェアの会場の提供 株式会社第四銀行 <ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド化コンテンツ会場の提供 インターンシップの受入状況に関する広報 長期インターンシップ学生への対価の支給
経済団体等	<ul style="list-style-type: none"> 合同企業説明会等を通じた学生と企業の出会いの場の提供 <ul style="list-style-type: none"> 新潟県中小企業団体中央会 <ul style="list-style-type: none"> 県内優良中小企業の紹介と職員の派遣 インターンシップに関する各種支援

2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(1) 教育改革の概念図



2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(2) 学位プログラム改革

①新潟大学創生学部

● 躍動する学び

創生学部は、定められた一つの学問分野を軸に学んでいく従来の学部とは異なり、学生一人ひとりが自分で目標を設定し、課題や専門 領域を選んで学んでいく、まったく新しい教育プログラムです。

「課題発見・課題解決能力」(リテラシー)の育成を重視したカリキュラム

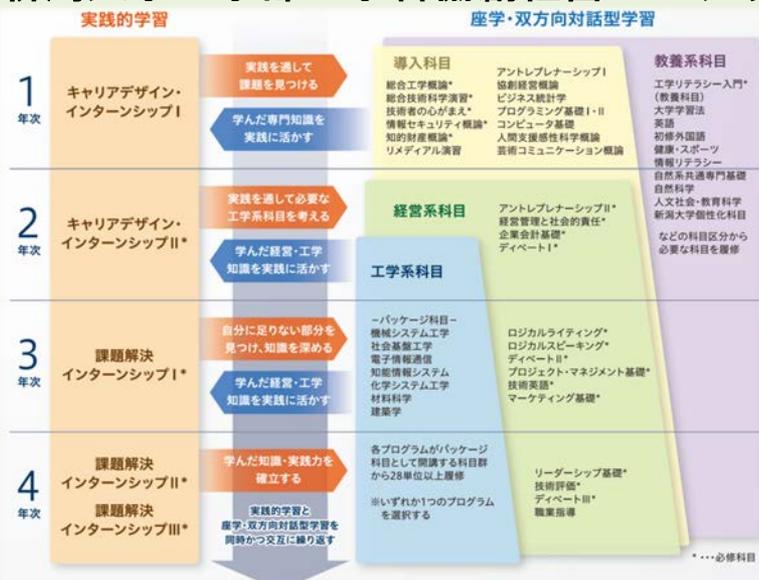
[4年間のカリキュラム]

	1年次				2年次				3年次				4年次			
	第1チーム(4-6月)	第2チーム(6-8月)	第3チーム(10-11月)	第4チーム(12-2月)	第1チーム(4-6月)	第2チーム(6-8月)	第3チーム(10-11月)	第4チーム(12-2月)	第1チーム(4-6月)	第2チーム(6-8月)	第3チーム(10-11月)	第4チーム(12-2月)	第1チーム(4-6月)	第2チーム(6-8月)	第3チーム(10-11月)	第4チーム(12-2月)
外国語	アカデミック英語(リーディング) アカデミック英語(リスニング)		基礎英語 アカデミック英語(ライティング)		初級外国語											
データ処理・分析			情報処理・データ分析		データサイエンス基礎											
初年次導入科目	創生学入門															
課題探究学習科目(PBL)	スタディスキルズ(大学学習法)		フィールドスタディーズ(学外学習)		リテラシー基礎 社会における様々な課題の課題発見				リテラシー応用(2,3年の間にA-Eから選択し、8単位(4科目)以上を履修) 課題 発見把握中心のPBL				リフレクションデザインⅡ 学修の振り返りと学位申請準備			
スキル習得中心の科目	リフレクションデザインⅠ				データサイエンス実践の選択履修 または 実践英語の集中学習(P.A.C.E.)											
ゼミ・ラボ	基礎ゼミⅠ・Ⅱ(1,2年生合同)				基礎ゼミⅢ,Ⅳ(1,2年生合同)				プロジェクトゼミⅠ,Ⅱ				ソリューションラボⅠ,Ⅱ(卒業研究相違)			
専門分野の学修(6学部から提供される領域学修科目パッケージを履修)			リフレクションデザインⅡ 領域学修科目への導入、領域(学部)と課題の理解		領域学修科目 この欄に、選択した領域学修科目パッケージから、40単位(20科目程度)以上を履修・専門領域の学修								リフレクションデザインⅡ 領域学修と社会的課題との関係			



②新潟大学工学部工学科協創経営プログラム

＜産業界との協働による人材育成＞
つばめ産学協創スクエア(つばめいと)との連携



企業向け説明会をつばめいとで開催

平成 31 年度 新潟大学 工学部
協創経営プログラム説明会

2018/12/12(水) 15:00~17:00

会場: つばめ産学協創スクエア 参加費: 無料

参加方法: メールまたはお電話にて、下記の連絡先までご連絡下さい。

【内容】

1. 開会の目的、プログラムの概観
2. インターンシップの申し込みについて概観(各学年の申し込み、スケジュール等)
3. 学生からの成長発表
4. 参加企業からの事例紹介(参加プログラムごとの)
5. 参加について趣意説明

TEL: 0256-64-8850 FAX: 0256-64-8850

2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(3) 正課・学外学修（新潟地域志向科目） 1 / 2

【新潟地域志向科目】

平成29年度

111科目 履修者実数：3,981人
(延べ 7,485人)

平成30年度

107科目 履修者実数：4,186人
(延べ 7,430人)



これからの社会では、自ら課題を発見し、他者と協調しながら解決し、その成果を広く発信できる人材が求められます。このような流れを受けて新潟大学では、新潟というフィールドを対象として問題を発見・解決し、発信できる人材(新潟創生人材)の育成に取り組んでいます。そのために、新潟について学べる科目(新潟地域志向科目)と、特定領域について体系的に深く学ぶカリキュラム(新潟創生人材育成プログラム)を用意します。



地域志向性を涵養する科目の普及推進

平成30年度からは、参加大学間において単位互換制度の運用を開始。令和元年度からは、各大学における「新潟地域志向科目」に相当する科目をリストアップ、履修を推奨し、広く学生への浸透を図っている。

新潟県内
3万人余の
若者への波及

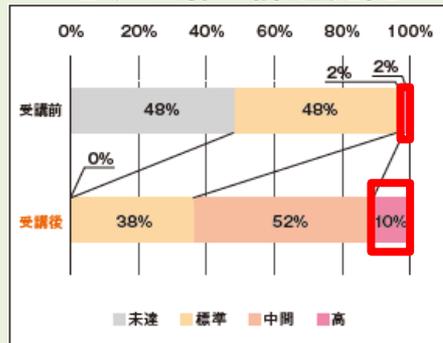
2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(3) 正課・学外学修（新潟地域志向科目） 2 / 2

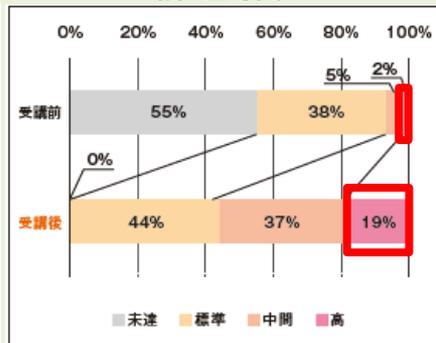
【産官金学協働実施科目の開設】

- 新潟地域志向科目群の先導的モデルとして、
自治体職員・企業職員を講師に招いたオムニバス授業を平成29年度に2科目開設
- ▶新潟地域の魅力を探る（自治体編・歴代講師）
阿賀野市、阿賀町、糸魚川市、魚沼市、小千谷市、三条市、上越市、津南町、十日町市、新潟市、南魚沼市、村上市、
- ▶新潟の企業の魅力を探る（企業編・歴代講師）
亀田製菓株式会社、株式会社コロナ、株式会社第四銀行、株式会社新潟日報社、株式会社ブルボン、北越コーポレーション株式会社、北越工業株式会社、小柳建設株式会社、株式会社BELLSOFT、株式会社山之内製作所
- ▶講師派遣に自治体及び業界団体が尽力

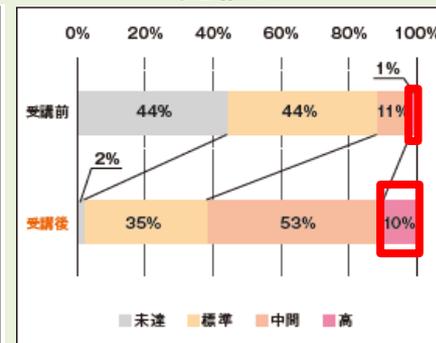
地域理解・課題発見



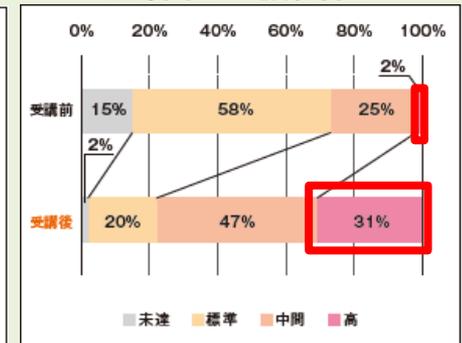
課題解決



発信力



主体性・協調性

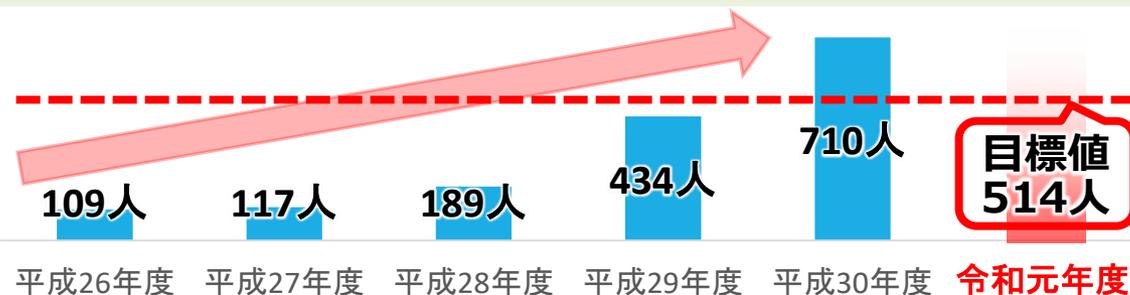


学生の理解力、課題発見力、解決力、発信力、主体性、協調性の伸長に効果が見られる。

2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(4) インターンシップ支援体制

● COC+事業協働機関への インターンシップ参加学生の 推移



● 支援体制: 特に新潟県におけるインターンシップ支援制度

- ▶ 受入企業の協力、各大学担当者との協働
- ▶ **新潟県主体**のマッチングシステム
 - ・ WEB上から申込～支援者による**個別の支援**
 - ・ インターンシップ**マッチングフェア**
 - ・ 企業向け研修会(**中央会、自治体等が主体**となって企画・実施)

マナー講座の様子



マッチングの様子



2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(5) 人材認定制度

【アグロ・フードアソシエーツプログラム】

新潟県及び新潟市を初めとする県内市町村の産業や暮らしの改善に関心を持ち、地域に潜む課題解決や地域活性化及び産業振興に積極的に関与できる人材を本プログラムにおける新潟創生人材とする。

その中でも「食・農と社会の関係性を科学的な視点で理解する素養を持った人材」の育成を目指す。

【ことづくり・マネジメントプログラム】

これからの製造業には、生産性や技術力の向上、そして産官学のあらゆる資源を有機的に結合したイノベーション、すなわち、従来型の「ものづくり」から「ことづくり」への産業構造の発展による新規産業の創出が求められる。

このような背景を理解し、特に地域製造業に関連した「地域経営」を担うべき人材の育成を目指す。

【コミュニティマネジメントプログラム】

地震や風水害、雪などの厳しい自然条件や災害と折り合いをつけながら、豊かな郷土を築き、維持・発展している新潟の地域とそこで活動する人たちに学び、地域の素材を発見し磨き育て上げる力、自助・共助・公助を考えあわせながら人と人をつないでいくことのできる力を有する、コミュニティ・コーディネーター、災害ボランティア・コーディネーターの素養を持った人材育成を目指す。

【にいがたマインド学生マイスター】

専門性を持って持続可能なコミュニティの発展に能動的に寄与できる人材及び地域課題から新しい価値の創造ができるコミュニティ・ビジネスマイスター人材の育成を目指す。

2 社会と大学が連携した地域志向性の涵養

(6) 地域活動＜学生の主体的な活動＞

留学生の留学生による留学生のためのアイデアソン「新潟 魅力発見！」
地元新聞社と連携し制作したフリーペーパー「Ricerca (リチェルカ)」について
地域を題材とする映像制作活動
地域ミッションインターンシップ 地域と関わり、地域を知る。新潟とわたしの未来へ。
地域の魅力発見・発信のためのPR活動
地域のリスクを減らす「減災アート」の可能性
大学研究室とのコラボレーションを通じて企業の経営課題を解決する
早稲田のために、できることを考えよう
人情横丁商店街活性化
人と人をつなぐ「お米サポーターズ」の未来～〇〇とのコラボによるお米の魅力の再発見～
新潟大学から発信する被災地支援～福島県浪江町の住民との交流を通じた健康増進活動～
新潟市東区特産馬鈴薯（男爵いも）を使った料理アイデアコンテストのレシピ
新潟市中心商店街における地域ミッションインターンシップ活動～碓谷小路活性化～
新潟市中心商店街における地域ミッションインターンシップ活動～古町カフェ新商品コラボ企画～
新潟工科大学×新潟産業大学 まちかど研究室
新潟空港へ行こう！ 学生目線での新潟空港利用促進について
新潟の食産業における販売戦略～首都圏、ASEAN市場の視点から～

新潟のまちを写真に残す「マチあるき物語」
新潟のベトナム人協会（NPO法人）の設立提案
小学校でのキャリア教育支援を目指した建築設計課題の発表
商品企画から観光事業・地域農業への参加
佐渡市稲鯨地域における新潟地域看護学実習報告
今後の活動と新潟地域のかかわり
国際学生フォーラムを通じた新潟地域の国際化
環境芸術を用いた地域活性化
学生団体「通船川みずべの窓口」の活動報告
学生ボランティアコーディネーターによる社会貢献活動
学生の活発なボランティア参加に向けての取り組み
学生と地域をつなぐ！～新潟大学ダブルホーム活動～
火焔型土器のPR活動及び火焔型土器の2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台モデル採用に向けた支援活動
令和元年度第7回サマーセミナー実施報告
ブラールールを活用した親子支援と交流促進活動～「楽しさ」がみんなを笑顔にする～
ハイブリッドまちあるき「にいがたくエスト」による新潟の地域資源の発掘
燕市の企業の魅力をPRするための取材・記事作成

カワイイニイガタキモノプロジェクト
糸魚川市小滝地区の魅力発信
SDGsに向けた「まち・生活・交通の安全を考える」トリトン・セーフティ・イニシアチブ
GrowCALカレッジ in 糸魚川
G-DORM長期受入・活動報告
G-DORM中期・ベトナム派遣報告：ベトナムハノイ工科大学におけるグループワークインターンシップ
G-DORM中期・カンボジア派遣報告：なぜ減らない？カンボジアの過積載車両と取締り
G-DORM・長期 日本の科学技術と働き方について学んだメコン地域学生にとっての貴重な経験
G-DORM 中期ラオス派遣報告
G-DORM 中期タイ派遣報告
BRIDGE創設から現在までの歩み
「胎内リゾート活性化プロジェクト」活動報告
「新潟県の名水」映像制作
「まちカフェりんく」活動報告「粟島プロジェクト」
「BOUND」作成の過程発表
地域と作る大きな輪～坂井輪でよりかがやくLホームに～
トチオノアカリへの灯り作品展

3 連携を強化するための取組

(1) 学生発表交流会

● 地域活動・学生発表交流会（平成30年12月）

- ▶ COC+事業に関係する大学と**学生間の交流**
- ▶ 学生による様々な地域活動を他大学の学生・教職員、企業及び自治体等の間で**相互理解**

参加者188人
(学生127人、教職員31人、その他30人)

発表件数37件
(10大学)



(2) フォーラム

● インターンシップ・地域活動フォーラム（平成31年2月）

- ▶ 学生間・大学間の**相互理解や連携強化**、地域志向性の涵養、**各機関の取組強化**
- ▶ 学生・企業・地域にもたらされる変化・効果の相互理解、共有深化に非常に有用な取組

参加者 141人
(大学（学生含む）82人、企業38人、自治体17人、他4人)

事例 16件
(10大学、1自治体、2団体)



- 学生発表交流会やフォーラムは、相互理解や連携・取組強化に、非常に有効
- 対話の機会を補助事業期間後も継続

4 事業総括

(1) 学生の地域理解度

活動に参加した学生の地域理解度に関する自己評価

- NIIGATA COC+事業に参加した学生の効果・成果を定量的に測定
- 共通するフォーマットによる学生の自己評価
- 活動への参加前後で、理解度が増した割合が以下のとおり増えた。

	参加前	参加後
魅力に対する理解	18.9%	75.0%
経済に対する理解	14.4%	73.1%
人に対する理解	25.0%	72.0%

県外就職のみ視野に入れていたが、**関わる地域に入って何かしたいな**と思った

大学3年ですが今のプロジェクトを**卒業後も続けていくべき**と感じた

大学卒業後に新潟を出ますが、**また帰ってきたい**

(2) 社会からの評価

学生発表交流会、インターンシップ地域活動フォーラム、 その他、NIIGATA COC+ が手がけた事業・教育に関わった諸氏のコメント

『 学生の活動によって**地域の人々が“前向き”**に変わっていくことが**地域にとって大切** 』

『 問題解決を短期的に学生に求めるよりも、**学生の視点で地域の魅力を発見**し、できる方法で実践してもらうことで、**無理なく継続**できる 』

『 **地域は“前向き”**に、学生は“活躍に手ごたえを感じて地域で生きていく気持ちを芽生えさせる”ように**変化** 』

『 **WIN-WIN**の関係になるにはまだまだ**話し合いが必要** 』

『 **「子供たちが地元目を見る」** = 若者の転出-人口減少（の解決）にもつながる 』

『 **若者が地域住民のクッション・媒介**になれば、**地域が明るく、前向き**に変わる 』

『 学生、大学、企業がインターンシップの**お互いの目的やそのギャップ**について**本音で話していた** 』

『 **地方創生は同じ地域の「産・学・官」**が**共に**取組んでいく必要があります 』

『 学生の時から地域の課題について考え取組むことが、**社会人になってからの活動につながる** 』

■ 「学生の地域志向性の向上」と「地域の活性化」に非常に有効

4 事業総括

(3) 将来展望

COC+事業終了後の実施体制

■ 新潟県における若者雇用・定着、地域人材育成など、人口減少対策に取り組む機関の連携の場

- ・各機関が連携し、雇用促進、産業活性化、人材育成等に取り組む場
- ・各機関で実施している地域創生に資するあらゆる取組をテーマごとに分類し、各テーマにおいて意見交換・情報共有・協働可能性について検討する場



情報の一元化・連携強化

【テーマ例】

地域志向型教育・人材育成に関する
意見交換・情報共有の場

(対象：大学・産業界)



【テーマ例】

新潟地域の産業活性化・
雇用創出に関する
意見交換・情報共有の場

(対象：産業界・大学)

【テーマ例】

新潟の企業を学生が知るための
意見交換・情報共有の場

(対象：学生・産業界)

県内若者の就職率向上、雇用促進・雇用創出、新潟地域の活性化